

題字：鮫川小学校
2年 本郷 美穂さん

ぎがいでり

伝統
和紙づくりに挑戦！
(鮫川小6年生体験学習)

12月定例会

- 定住・子育て支援奨励金条例化**
全員協議会、臨時議会 12~13
12月定例議会 …………… 3~5
一般質問に5議員登壇 …… 6~11
検証!どうなったっぺあ的一般質問 … 14
村民の広場 …………… 15
ふるさと鮫川への想い …………… 16

信頼される議会をめざして

鮫川村議会議長 星 一 彌



新年明けましておめでとう
ございます。

村民の皆さまには、お健
やかに新年をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。

皆さまには、日頃より
村議会に対し、ご理解と
ご協力を賜り深く感謝申
し上げます。

昨年は日本列島各地に
おいて、豪雨災害や地震
による被害など多くの災
害に見舞われた一年でも
あり、多くの尊い人命ま
でも失いました。被害に
遭われました各地の皆さ
まにお見舞いを申し上げ
ます。

本村においては、幸い
最小限への被害にとどまっ
たものと思われませんが、

あの東日本大震災による
風評被害は、まだまだ払
拭されることはありません
ん。議会人としてこれか
らも払拭に向けて、最大
限の努力を傾注し村民の
付託に努めて参ります。

さて、私が議長として
議員一人ひとりの意を尊
重し、活力ある村づくり
に努めて参りました。一
歩ずつではありますが、
確かな一歩と自負してお
ります。

昨今、少子高齢化、議
員のなり手不足が深刻化
しております。議会が住
民の代表機関として適切
な役割を果たすためにも、
我々議会が自主的な取り
組みを積極的に展開し、

議会の魅力を高め、更な
る住民の信頼を得ると
もに、議員として活躍し
やすい環境づくりに努め
て参ります。

新年は年号も変わり、
新たな門出となります
が、住民がより豊かで平
穏な日々を暮らせること
を願ってやみません。

結びになりますが、村
民の皆さまにとって実り
多き一年でありますよう
ご祈念申し上げます、新年の
ごあいさついたします。

12月定例議会

定住・教育・環境

各種基金に6601万円積立

12月補正予算の状況

会計別	補正額	補正後の予算額
一般会計	6994万6千円増	32億2411万1千円
特別会計	国保(事業勘定)	29万3千円増 4億7666万6千円
	簡易水道事業	76万5千円減 1億1045万3千円
	村営バス事業	0 1110万5千円
	介護保険	0 4億8954万3千円
	交流施設	259万1千円増 2005万9千円
	学校給食	33万5千円増 1億205万2千円
	後期高齢者医療	22万7千円減 3836万4千円
	合計	7217万3千円増

12月補正予算の主な事業

歳入	
地方交付税	6500万円追加
市町村生活交通対策事業費県補助金	188万2千円追加
歳出	
財政調整基金積立	1500万円追加
公有施設整備基金積立	4000万円追加
教育施設整備基金積立	1000万円追加
ふるさとづくり基金積立	101万円追加
農村公園維持管理工事費	122万1千円追加
緑の文化財保全業務	100万1千円追加
宅地分譲地造成工事費外	181万円追加

鮫川村選挙管理委員会委員・補充員

委員	
前田 榮 (官代)	蛭田 昌一 (田尻)
岡部 啓一 (大塩)	矢吹 俊次 (塩倉)
補充員	
青戸 禎美 (前沼)	本郷 長 (沼野沢)
金澤 一四 (真坂)	金澤 助右門 (世々麦)



大樂勝弘 村長

12月定例会のあらまし

12月定例会が、12月11日から13日までの3日間の、会期で開催されました。第1日目に、一般質問を行いました5名の議員が登壇し、鳥獣による有害駆除対策の支援や、子育て支援と定住促進施策の推進などを取り上げ、村政を質しました。また、平成30年度補正予算8件、福島県市町村総合事務組合の規約の変更についての、提案理由の説明がありました。第2日目に、総務文教常任委員会と産

業厚生常任委員会の合同議案調査を開き、議案を審議しました。最終日に、審議した補正予算、規約の変更を原案のとおり可決しました。また、2月1日に任期満了となる、鮫川村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙(指名)を行い、閉会中の継続審査を許可して、閉会しました。

ゆうきくん
が解説!



議案調査(ぎあんちょうさ)とは?

議会に提案された、議案(ぎあん)に対して担当課に説明を求め、現地を調査するなど常任委員会ごとに調査をすることです。

議案調査



全ての担当課から議案の説明を受ける常任委員会

◆産業厚生常任委員会

【調査項目】

交流施設(ほつとはうす)への繰出金他14件

◆総務文教常任委員会

【調査項目】

財政調整基金、公有施設整備基金、教育施設基金の内訳他10件

提出された平成30年度一般会計及び特別会計補正予算を、総務文教・産業厚生両常任委員会は、合同委員会にて議案調査をしました。

補正予算(ほせいよさん)とは?

年度初めに計画した事業の予算に、増減が生じた場合、議会の承認を得て予算の修正をすることです。



ゆうきくん
が解説!

一般会計 補正予算



農村公園維持管理工事 **122万円**
(修繕費2箇所)



宅地分譲地の側溝・看板 **181万円**



スクールバス修繕費 **60万円**



二反田(西山)ヒガンザクラ保全業務 **100万円**

平成30年度一般会計補正予算は可決承認。交流施設特別会計補正予算は賛成多数、他の特別会計は可決承認しました。

宅地分譲地整備、
教育施設整備他
補正額を承認

チェック します 補正予算

議案の質疑討論



議論を要する ほっとはうすの今後の運営

反対討論

前田 武久 議員

議案第92号 交流施設（ほっとはうす）特別会計補正予算について反対討論をする。当初予算で昨年29年度より360万円増の960万円を繰り出し、それに加えて今回の補正を合わせると、1340万円となる。反面収入である利用料は前年度より72万7千円も下回っている。交流施設決算状況から見ると841万8971円の赤字で、更に今回の補正を

加えると約1220万円の累積赤字となる。財務事情はまことにお粗末。平成19年から特別会計になり、その3年前の数字が明らかになっていない。そのために、おおよそであるが約1億2千万以上の赤字補填をしており、それにもかかわらず是正努力もなく、経営悪化の場合は閉鎖をする

と、昨年村長が断言したにもかかわらず、今回の補正は余りにも軽視している。自立する村づくりでなく、自滅する村づくりを目指している。よって議案92号平成30年度鮫川村交流施設特別会計補正予算に対し、反対討論とする。

賛成討論

宗田 雅之 議員

交流施設特別会計補正予算の原案に賛成の立場の議員として討論する。「ほっとはうすさめがわ」の今までの経過、経緯、これからも各事業を行う場合に、大変必要なところである。そのためにも今まで「ほっとはうす」ができた経過、経緯を全てで検討し、今後予定されている各施設の運営方法も検討し、未来志向のむらづくりを活かすためにも、この予算を通して、全ての議員で検討していただくためにも、今回のこの予算に対して賛成の意見から討論とする。

一目でわかる審議結果 (12月定例議会、臨時議会)

【12月定例議会】

○=賛成 △=反対

議案	遠藤 貴人	堀川 照夫	北條 利雄	関根 英也	前田 雅秀	関根 政雄	前田 武久	宗田 雅之
一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
村営バス事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
交流施設特別会計補正予算	△	○	○	○	△	○	△	○
学校給食センター特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○
市町村総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨時議会】

宅地分譲地販売促進基金・奨励金条例	○	○	○	○	○	○	○	○
-------------------	---	---	---	---	---	---	---	---

議員 5人が登壇 スバリ!! 村政を問う!



(鈴木 和花さん)

北條 利雄 議員 P7

- ① 許可地縁団体となり得る団体組織の現状と支援策
- ② 総合戦略の重要業績評価指数
- ③ 平成31年度の施政方針と予算編成

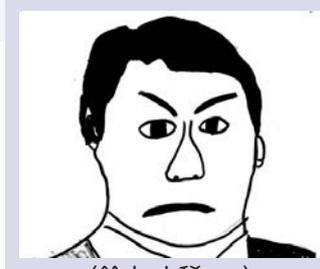
一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。
 鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。



(江田 果帆さん)

堀川 照夫 議員 P8

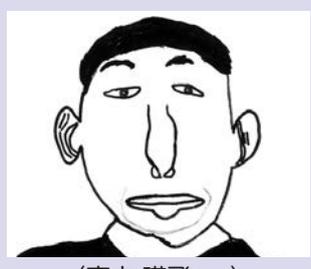
- ① 鳥獣による有害駆除対策の支援策



(鈴木 大稀さん)

遠藤 貴人 議員 P10

- ① 旧西野区民グラウンドの活用
- ② 村の基幹産業



(高木 瑛飛さん)

前田 武久 議員 P9

- ① 補助金依存
- ② 村長の進退



(木之内 慶斗さん)

関根 政雄 議員 P11

- ① 子育て支援と定住促進施策
- ② 児童公園を核とした中心地の活性化

出席議員



宗田 雅之 議員
(芳賀 七海さん)



前田 雅秀 議員
(阿久津 悠介さん)



関根 英也 議員
(関根 心桜さん)

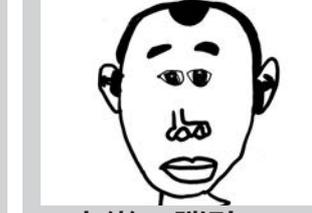
※ 定例議会には、ほかに各課長が出席しています。

議会の進行



星 一彌 議長
(石井 憲成さん)

答弁者



大樂 勝弘 村長
(斉藤 莉愛さん)



奥貫 洋 教育長
(須藤 蒼天さん)

出席者



白坂 利幸 副村長
(泉田 悠愛さん)



北條 利雄 議員

一般行政

問

平成31年度の施政方針と 予算編成を伺う

答

持続可能な財政基盤の 確保を指示した

質問

急速な人口減少と少子高齢化の進行が見込まれる中、地域の活性化と人口減少抑制をめぐり、自然災害に対する防犯・減災対策など、多岐に渡る諸課題への対応が求められる。さらに原油価格の高騰、諸物価の値上げ、消費税の値上げなど、村民生活に与える影響も多大である。

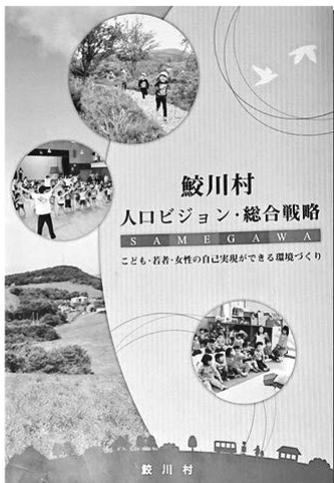
そのような状況下、歳出削減路線を堅持すると同時に地方再生の施策を重視すること等、多くの課題が山積している。本村の平成31年度予算編成について伺う。

答弁(村長)

平成31年度は、第4次

の鮫川村振興計画前期基本計画の最終年度にあたる。総合戦略の実施計画である地方創生関連事業の具現化に向けた取り組みを強化し、それぞれの指標の達成を目指す。引き続き自立する村づくりにつなげる事業を推進するため、厳しさを増す財政状況の中で、財源を効果的・効率的に活用する重要な旨を示した。

成果指標に対する徹底した取り組み、必要に応じた見直し、施策の成果向上に寄与しない事業、時代の潮流に合わない事業や役割を終えた事業は廃止するなど、将来の財政需要を踏まえた上で、持続可能な財政基盤の確保に取り組みよう指示した。



地方再生の施策を具現化する「総合戦略」

問 認可地縁団体の現状と支援策を伺う

答 状況に応じた支援、広報等、機会を通して指導する

質問

行政区、農事組合、納税組合などは、村民の地域生活に関するあらゆる活動を引き受けており、これらの団体組織は行政の末端組織としての機能を十分に果たしている。さらに団体組織は、生活基盤である地域集会所の土地や建物などを所有しており、今でも時の代表者名義を引き継ぎ、不動産登記も相続する親族名義で登記を繰り返している現状が見受けられる。これらを解消すべく、行政の「認可地縁団体」の活用、積極的な広報や手続き支援策を伺う。

答弁(村長)

手数料や登録免許税などの財政支援、登記事務の行政サービス等

の支援は、認可申請に関する書類整備等の支援をすることは可能であるが、手数料、登録免許税は、基本的には当事者が負担すべきものである。

認可地縁団体のケースバイケースの状況に応じて、さらに支援制度、広報等、機会を通して指導に取り組んでいく。

問 総合戦略の事業評価の検証方法を伺う

答 目標水準の達成度は、数字が出た時点で公表する

質問

事業の点検や軌道修正には、事業ごとのマネジメントサイクルを稼働させ、随時の成果・進捗管理による取組みの改善を行い活用すべきである。これらの確立とともに事業途中においての「年度別事業評価シート」を作成し、目標水準の検証を行い、

実効性を高め公表することが重要である。

村の振興計画の推進と総合戦略「まち・ひと・しごと」のプロジェクトを成功させるため、検証方法と事業評価を伺う。

答弁(村長)

総合戦略に位置づけられた事業のうち、目標値を設定した事業について「成果が得られた」、「おおむね成果が得られた」、「期待した成果を得られなかった」の3段階により評価した。

これらの個別計画についての一つのプロジェクトを推進していくためには、相当の職員数と労力、時間をかけなければ達成は見込めない状況である。取り組み内容を精査し集約して推進することで、より効率的で効果が上がる取り組みを構築するという手法の見直しを進めている。

見直し後の事業についての目標水準の達成度は、この数字が出た時点で公表する。

次のページは

一般質問

堀川照夫議員・前田武久議員

問 鳥獣による有害駆除対策の支援を強化せよ

答 電気柵、狩猟免許の取得への支援策を拡大し、農家を守る

堀川 照夫 議員



イノシシの進入防止の電気柵

質問 本村の基幹産業である農業の振興は、最優先課題である。水稲をはじめとする各農産物や畜産の飼料作物への、イノシシ等の被害が村全域に拡大している。年々、捕獲頭数も増えてつがあると聞くが、水稲・デントコーン・野菜等への被害は後を絶たない。

村では鳥獣被害への補助を実施し、一定の成果は見られているが、罨捕獲免許への支援や電気柵への助成の増額を図り、困窮する農家への救済を早急にすべきと考える。農家の支援策の観点から、有害駆除支援強化の考えを伺う。

農の免許の取得には、全額補助をだしてもい

答弁(村長)

罨取得免許と猟友会に入隊について支援策を伺う。

再質問

農家の皆さんの手助けになるような施策としてできるだけ応援したい。
5万円で不都合な場合には、面積で対応するか、その辺を検討させて頂く。

答弁(村長) 村では有害駆除対策の支援策として、平成27年度に鳥獣被害防止施設等資材購入費補助交付要綱を制定し、電気柵など資材購入費の補助を始め、上限を5万円としている。
制度開始以来の実績は平成27年度に42件で支援金172万4千円。28年度は30件で98万円。29年度に60件で251万1千円。今年度は12月3日現在で、54件で178万9千円を補助している。

料金の全額と言わなくとも半額補助ということで、担当課長に考えていただき支援する。有害鳥獣の猟友会に入隊しないと、この罨捕獲活動はできないとのことであるから、是非入隊してもらうように勧めながら、これからも支援させていただく。



捕獲されたイノシシの群れ

狩猟免許の種類	
免許の種類	使用できる猟具
罨 猟	罨
わ な 猟	わ な
第1種銃猟	装薬銃(ライフル・散弾銃)
第2種銃猟	空気銃

狩猟免許 → 罨をするための許可(行政)
銃所持 → 銃を所持するための許可(警察署)



前田 武久 議員

一般行政

問 補助金依存の施策から 自主性高い施策に脱却を

答 村債残高、公債費の 適正管理に努める

質問

（一）本村の公共事業は補助制度のある事業を優先しているのが実態。村費の抑制から当然の選択であるが、補助金依存性が事業執行優先を左右し、あるいは自主的財政運営を阻害することがなかったか伺う。

答弁(村長)

本村は自主財源が乏しく、財政力指数も現在0.16と県内59市町村中56番目であるため、国、県の補助に頼らざるを得ない。

ごく一部であるが、補助金の有無にかかわらず単独事業を実施しているものもある。

再質問

補助金活用事業において、数々の弊害が生じている。典型的な例として、宿ノ入の医師住宅は建築以来数年利用できず空き家となっている。医師が入らず、医師以外の入居が認められないためである。平成7年から運営開始された交流施設は当初から経営困難で財政負担から経営転換も償

還期間内は出来ず、現在も負の施設となっているが。

答弁(村長)

医師住宅の無使用については大変申し訳ない。無医村にしたくないための住宅である。

再質問

医師住宅空き家の管理状況と償還年数は。

答弁(住民福祉課長)

補助金の処分制限があり、今は申し訳ないが即答できない。後日に報告する。償還期間内は医師住宅として管理する。

質問

（二）国は地方債を利用した単独事業の積極的推進を提唱している。国からの規制、制約もなく地域の要望に合った事業も出来るし、種類によっては将来の元利償還金の一部を地方交付税で補填されている。補助金依存行政から脱却し、自主性の高い事業を取り入れるべ

きと思うが如何か。

答弁(村長)

地方債は公共施設等の整備に必要な財源として活用している。将来世代の負担を見越した地方債発行の判断が重要である。

本村の地方債残高は29年度末で30億3千万円。実質公債費率も6.1%と標準値を下回っているが、引き続き村債残高及び公債費の適正な管理に取り組む。

再質問

村長就任時、自立できる村づくり、村民の意見を真摯に受け止め、村民第一主義、この地で所得収入を得る雇用の場の確保を図り、安心して暮らせる施策を期待したが、現実には難しい。

基幹産業である農業、畜産の他に不動産として活用されていない森林資源がある。資源を活かすための二次製品加工工場や、温泉資源活用等、当村の器量に応じた事業計画を、

残任期間に能力のある職員知恵を絞り出して取り組むべきと考え。このままでは本村自治体の消滅になりかねない対応策を伺う。

答弁(村長)

議員質問の通り、鮫川村は75%の山がある。山林資源の活用と温泉資源の活用を皆さんと一緒に考えながら、村づくりに取り組む。

問 村長の進退は

答 3月、6月議会まで時間をもらいたい

質問

任期も残すところ8ヶ月余り。次期村長選への進退を伺いたい

答弁(村長)

この一般質問を受けた時、即、今限りでやめる考えだったが、即答は控える。今後、後援会と相談し、進退を皆さんに伺いたい。



入居されていない医師住宅(宿ノ入)

次のページは

一般質問

遠藤貴人議員・関根政雄議員



遠藤 貴人 議員

農業政策

問 持続可能な農業生産に向け、独自に考察している支援策はあるか

答 手・まめ・館の充実、設備資金貸付、栽培技術の継承で所得向上を目指す



農村は高齢化が進み、放棄される農地がますます増えるはず

質問

日本の農業では、農業の格差社会が始まると予測され、農業で生き残るには知恵を絞って行動しなければならず、そういった意味から収入に差が生まれ、農業は変革を迎えている。こういった現状の農業に対し、独自に考察している支援制度や展望があれば伺う。

答弁(村長)

今後、持続可能な農業生産をしていく中で、大規模農家の法人化や個々の農家への支援策が必要。
1つめは、手・まめ・館生産者の所得向上と購入促進運動の推進。鮫川村の気候を活かした栽培で、一般的な野菜の旬と収穫時期がずれることを利用し、農

産物の価値を高めることにより農家の所得向上につなげる。

2つめは、新規就農者が設備を導入するための資金貸付制度。合わせて、農家同士や新規就農者の交流で情報を収集し、農機具を手に入れる機会の提供。
3つめは、手・まめ・館を核とした農業生産基盤の強化。新たな農業の担い手を確保するとともに、持続可能な農業生産を行うための

学びも必要。すぐれた栽培技術が途絶えてしまふことがないように、技術継承の機会を設ける。

再質問

高齢者の農家からは、機械が壊れるか、自分が壊れたら農業を辞めると聞き及ぶ。村の基幹産業である農業に対する危機感を共有したい。先を見据えた思い切った施策が必要。

答弁(村長)

鮫川村の子牛の販売頭数は694頭。売上

金額は管内トップの5億円。酪農での売上金額は2億円以上。村の畜産関係では7億円以上の売上金額になる。農家が元気に就農できる環境をつくる。

再質問

畜産の村であるならば、大きな畜産施設を

建設し、村民に働いていただくような施策はどうか。

答弁(村長)

畜産農家への支援として、埤町に施設が出来た。その活用を検証しながら、畜産農家への支援を考える。

問 整備要望が提出されている、旧西野区民グラウンドの活用計画を示せ

答 多目的グラウンドとしての機能を回復させる

質問

旧西野区民グラウンドが、活用されないまま雑草の生い茂る現状となっている。整備要望が地元民から提出されているが、今後の活用について伺う。

答弁(教育長)

で、多目的グラウンドとしての機能を回復させる。村体育施設の指定管理に関する協定に、旧赤坂西野区運動広場を加える協議を、さめがわスポーツクラブと進める。

屋内多目的スポーツ施設の整備を計画したところ、村の中心地に建設すべきとの意見が出され、建設計画を見合わせた。来春には重機による敷き慣らしに



関根 政雄 議員

定住政策

問

子育て支援と定住促進施策の推進策を示せ

答

見渡地内の宅地に、子育て定住促進を計画する

質問

子育て支援と定住を促進するにあたり次の各点について計画と方針をお示し願いたい。

- ①見渡地内の宅地分譲地の販売日程、販売要綱は。
- ②子育て支援住宅建設、リフォーム、移住者空き家支援策の考えは。
- ③商工会より「人口確保と若者の定住促進に関わる報告書」による提言書が提出されたが、施策に反映されるのか。

答弁(村長)

定住促進のための宅地造成工事を年内完成で進めている。

- ①区画測量、登記手続が2月末まで日数を要する。3月から譲渡手続を開始したい。価格については子育て世帯への支援策を検討している。
- ②分譲地の購入者を対象とし、村民や移住者の子育て世帯の住宅建設の負担軽減策、空き家バンク登録を検討する。
- ③定住促進補助金と廃



宅地として分譲される西野団地

屋建物の取り壊し補助金制度など検討する。

再質問

見渡宅地の南側の日陰林など周囲の環境整備はどのようにするのか。

答弁(村長)

南側山林の地権者には内諾をいただいている。完売したならば、南側山林も購入し、新たな分譲地という夢もある。また子育て支援策として、全額補償金としてお返しする、もしくは20年後には半額を返金する形をとりたい。

再質問

年内中に販売への支援策を公表するためには、条例制定のための議論をし議会の議決を急ぐべきではないか。

答弁(村長)

正月に話題を提供できるように広報したい。預かった土地代を返金することで議決をいただきたい。

問 児童公園を核とした中心街の活性化策は

答 中心市街地活性化協議会で検討する

質問

児童や恒例の「こども模擬議会」での一般質問でも、館山公園の利活用や児童公園整備の提言が数多く出されている。

再質問

公園整備は「安全性」「利便性」そして駐車場の確保も必要である。手・まめ・館の周辺で、用地確保ができるのか。活性化協議会の話の経過はどうなのか。

答弁(村長)

活性化協議会は11月16日に開き「道の駅」でなく、農産物加工所、あるいは直売所や駐車場で計画してはとの意見が出た。

答弁(村長)

このプロジェクトの課題解決の取り組みとして、①賑わいの核となる公園整備、②公園周辺の店舗等の整備、③公園から温泉施設、生涯学習機能などの区画的な整備、④中心市街地活性化協議会の設立を掲げている。

公園整備については中心地活性化協議会

次のページは

分譲地販売促進への全員協議会・臨時議会

全員
協議会

大きな第1歩!

◆ 20年間住んで、土地代を奨励金として交付

◆ 建築時に補助金100万円

さらに、こども一人10万円加算支援

村は近年の急激な人口減少対策として、西野団地を造成しました。さらに、多くの村民からの要望に応じて、「鮫川村住まい応援事業」の原案を、議会全員協議会に諮りました。原案は宅地取得し20年後に「地代の半額を返還」としましたが、議員からは「半額でなく全額にすべき」「年齢を若者に定めるべき」との提案もあり、村はこれらの提案も考慮し、条例制定を経て販売促進に繋がりました。



臨時
議会

定住・子育て支援に

ここに注目!

臨時議会は12月19日に招集され、「宅地分譲販売促進基金条例」「定住促進奨励金に関する条例」の他に平成30年度一般会計、特別会計補正予算を上程し、全ての議案は可決承認されました。

【鮫川村定住促進奨励金に関する条例 及び規則】

《定住促進奨励金》(条例)

第4条 定住する目的のため住宅を建築し、本村に住所を有するものに定住促進奨励金を支給する。

《奨励金の額》(規則)

第4条 分譲地を取得した額とし、居住した日から20年後に全額とする。

【鮫川村宅地分譲地販売促進事業補助金 交付要綱】

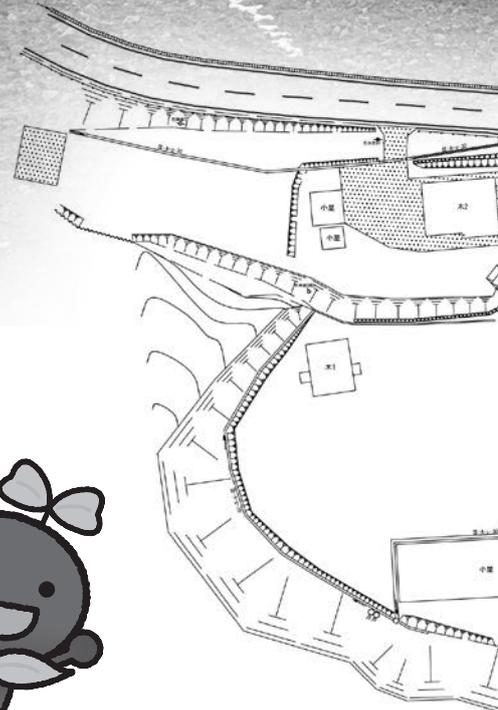
《補助金交付対象者》

分譲地の売買契約後、3年以内に村内外請負業者と工事契約を結び、申請日に属する年度の4月1日で夫婦のいずれかが45歳未満の婚姻世帯

《補助金》

村内請負業者100万円、村外請負業者50万円。義務教育修了前のこども、1名につき10万円を加算する。

詳しくは
地域整備課に
聞いて下さいネ!



追跡!

第12弾

過去の一般質問が行政に反映されているか、その経過を検証します。

どうなったっぺ? あの一般質問

【人口減少に伴う施策】

質問・提言

村内の若者の村外流出が顕著であり、地場産業の振興、人材育成が緊急の課題である。

平成29年12月議会

答 弁

一次産業の衰退が人口減少を招いている。農家への支援策を考えていく。

経過及び結果

農家の衰退は止まらないが、若者の定住化を図るために、分譲地を造成し、売り出し中である。



若者の定住促進が期待できる宅地分譲地

【肉用牛繁殖施設の公設民営化】

質問・提言

雇用の確保、農地の維持のために特色ある公設民営での肉用牛繁殖施設を整備すべきでは。

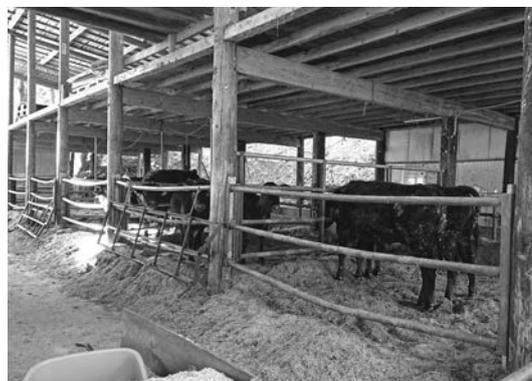
平成28年9月議会

答 弁

県内外の成功事例を参考に、多角的な視点で研究を重ねていく。

経過及び結果

畜産農家への継続的な支援をしているが、公設民営での繁殖施設は検討中。



基幹産業となる肉用牛繁殖施設

※定例議会での「一般質問」は「村民の皆様の声」や議員の「政策提言」を村政に反映できる手段です。質問した「政策提言がどのように検討されているか」を根強く検証していく事としています。

村民の広場

私の夢シリーズ 15

がんばれ!!
村の担い手

将来のこと、頑張っていること

浅木 隆加^{りゅうか}さん (鮫川中2年生)



(赤坂西野字見渡)

- ◎ 卓球部で活躍中
- ◎ 趣味は音楽鑑賞

僕が今、頑張っていることは卓球です。中学生になって部活と言われ、部活とは何かも分からず卓球部に入部してしまいました。始めは上手くできなくて辞めたくなった事もありましたが、辞める事もできず、今まで続けて楽しくなってきた、辞めなくて本当によかったと思います。これからも部活がある時はできる限り休まず、練習したいと思います。これからの進路に向けて色々なことを努力し頑張っていきたいです。

次に将来についてです。僕はあまり先のことをあれこれ難しく考えたくありません。これから僕にできる夢は、なにか人のために役立つ人間になりたいと思います。人は一人で生きていけないため、皆で協力し合い、僕はその中の一人として人の役に立っていける人になれば、一番嬉しいですし、これが願いでもあります。

笑顔にできる仕事に就きたい

山形 美鈴^{みれい}さん (鮫川中2年生)



(青生野字江堀)

- ◎ 文芸部で活躍中
- ◎ 趣味は野球観戦

私の将来の夢はまだ決まっていません。ですが、みんなの役に立つ仕事や笑顔にできる仕事に就きたいです。これからの学校生活でゆっくり決めていこうと思っています。

今、頑張っていることは勉強です。四月から受験生になるので、志望している高校に行けるように今から頑張っています。そして、自分の将来が良いものになるように周りの方々に感謝しながら生活していきたいです。

ふるさと鮫川への想い シリーズ③



松本 春美さん

(大字赤坂東野字広畑出身) 埼玉県さいたま市在住

◆プロフィール

【生年月日】 昭和23年6月17日
 【家族】 妻 子供2人(既に独立)
 【学 校】 鮫川中学 埼玉県高等美容学校
 【趣 味】 ゴルフ・旅行
 【仕 事】 株式会社 サントス 会長

我が故郷を愛し、今尚懐かしい思い出が沢山あり、故郷を離れて半世紀が過ぎましたが、鮫川村は素晴らしい村で有ります。私は今でも年に2〜3回は村に行きます。又、私の妻も鮫川村の人なので、両親に会って手を合わせ、その時々報告をし、両親に感謝しております。両親がいたからこそ今日まで歩ん

我が故郷を愛し 今懐かしい思い出が沢山

で来られたのだと思えます。私は田舎にいた時は大変貧しく、夏になると浅川町からアイスキャンディーを自転車の荷台に乗せ登り、旗と鐘を鳴らしながら売りに来るのです。当時5円のアイスキャンディーを子供ながらに舐めたくても、そんな金どこにあるんだ！と怒られ、舐める事が出来ませんでした。学校から帰って来れば、ジャガイモ・かぼちゃ・さつまい芋がオヤツでした。今はなんでもすぐに手に入る時代です。村にいた時の事を思い出します。川で泳いだ事や、田んぼを凍らして竹スケートをしたり、又、母親に綿入りのグローブ、父親には木を削ったバットを作ってもらい、野球をして遊んだ事が思い出される本心に懐かしく昨日の様に思えます。

昭和39年鮫川中学校がお寺の下にあったのが最後の卒業生で、家が貧しくて高校に行けず、埼玉に就職し働きながら学校に行きました。20年間勤めた会社を退社して、今は独立開業し美容店、美容店を経営し、老人ホーム施設内やブライダル等にも力を注いでおります。

独立開業して35年が経ちまして、平成28年に有限会社から株式会社にし、長男に全権をバトンタッチをしまして、今は私はボランティア活動に力を入れ、小学校の交通指導員や公益財団法人日本ソフトボールの指導や審判、LBC卓球少年院や警察署関連の防犯の活動したりしております。又、孫が4人おり、毎日あわただしく生活しながらも楽しく過ごしており、海外旅行もヨーロッパを始め、色々な国を旅する事が出来ました。

最後に私の夢はゴルフでエイジシユートをする事です、無理かもね!!

今年もよろしくお願ひします
 分かりやすく、読んでいただける議会だよりをめざして、今年も頑張ります



議会だより発行に力注ぐ広報委員

編集後記

新年おめでとうございます。更なる議会の活性化に向けて、鮫川村議会では「議会基本条例制定」に向けて進んでおります。議会基本条例は「村民の皆様と議会の約束事」です。

条例制定について、村民の皆様方よりご意見をいただければ幸いです。本年も村議会を宜しくお願ひします。

(広報編集委員)